

現代源平屋島合戦絵巻

事業計画

2012年5月29日

I. 趣旨

1. コンセプト

屋島の魅力と歴史的価値を賞揚し、高松の人・クラブ等の可能性を探り、屋島活性化に資するとともに、瀬戸内国際芸術祭への体勢を構築する。瀬戸内国際芸術祭 2013 のプレイベントとして位置づける。

2. 概要

屋島を舞台に、太鼓や音楽、パフォーマンス、衣装が中心となる合戦絵巻を展開する。プロの奏者のほか、鼓笛隊、吹奏楽部、騎馬戦等への競技出演、コスチューム制作等、それぞれの特技を持ち寄り、子どもから大人たちまで、オール高松市民が参加するイベントとする。観客は、屋島のあちこちで繰り広げられる合戦（演奏）の様子を巡り歩く。



II. 構成

1. 名称 現代源平屋島合戦絵巻
2. 開催日 2012年11月4日(日)
3. 会場 香川県高松市屋島東町周辺(檀ノ浦・源平屋島合戦古戦場)
主戦場=(メイン会場) 立石港埋立地
4. 主催 現代源平屋島合戦絵巻 実行委員会
実行委員長 高松市長 大西 秀人
顧問 社団法人 香川県観光協会 会長 梅原 利之
副実行委員長 公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューロー
理事長 松村 元起(源平屋島地域運営協議会 会長)
高松市副市長 勝又 正秀
実行委員 高松ホテル旅館料理協同組合 理事長 三矢 昌洋
四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 泉 雅文
高松琴平電気鉄道株式会社 代表取締役社長 真鍋 康彦
高松市コミュニティ協議会連合会 会長 滝川 三郎
屋島地区コミュニティ協議会 会長 佐々木 正隆
古高松地区コミュニティ協議会 会長 村井 浩治
むれコミュニティ協議会 会長 大林 良博
庵治地区コミュニティ協議会 会長 新上 隆司
高松市婦人団体連絡協議会 会長 野田 法子
高松商工会議所 事務局長 松木 健吉
社団法人 高松青年会議所理事長 沖川 学
高松市PTA連絡協議会 会長 樽谷 佳樹
高松市子ども会育成連絡協議会 会長 関元 盛夫
高松市地区体育協会連絡協議会 会長 鎌田 基志
国立大学法人 香川大学長 長尾 省吾
高松大学長 佃 昌道
香川県立保健医療大学長 湯浅 繁一
香川県観光交流局長 岡 輝人

高松市教育委員会教育長 松井 等
香川県吹奏楽連盟 理事長 村山 英一
香川県立高松工芸高等学校長 丸谷 幸彦
香川県立高松北高等学校長 佐々木 和昭
屋島漁業協同組合 代表理事組合長 宮宇地 季忠
庵治漁業協同組合 代表理事組合長 嶋野 勝路
牟礼漁業協同組合 代表理事組合長 小山 良明
屋島山上観光協会 会長 浜田 芳雅
元気 YASHIMA を創ろう会 会長 岡 晃一郎
屋島をよくする会 会長 平田 幹男
むれ源平まちづくり協議会 会長 新谷 稔
特定非営利活動法人高松まちづくり協議会 理事長 三好 正人
高松商工会議所 産業振興部長 桑内 一利
公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューロー
専務理事 池尻 育民

ディレクター 北川 フラム (瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)
音楽監修 松田 惺山 (鬼太鼓座)
ダンス監修 コンドルズ (ダンスカンパニー)
デザイン監修 原 研哉 (デザイナー)
事務局長 高松市創造都市推進局長 宮武 寛

III. 参加者

1. 募集要項

音楽・パフォーマンス・コスチューム（仮装）を得意とする、様々な市民グループ及び一般参加者を募集する。

(ア) 募集部門

	項 目	内 容	募集数
1	音楽	音楽サークル・マーチングバンドなど、歩きながら演奏ができる団体。	10 団体
		1 グループ 10～50 名 程度	
2	パフォーマンス	ダンスグループ、学校のサークルなど、歩きながら踊れる団体。	10 団体
		1 グループ 10～50 名 程度	
3	コスチューム	服飾関係の学校・サークルなど、衣装を提案・制作し自身が着て歩くことができる、またはチーム全体の服装コーディネートのできる団体。	10 団体
		1 グループ 10～30 名 程度	
4	自由参加	地元自治会、コミュニティー協議会、子ども会、婦人会、企業など、パレードに参加できる団体。	40 団体
		1 グループ 10～60 名 程度	
合計参加団体 約 70 団体 3,000 名程度			

(イ) 募集期間 2012 年 6 月頃～9 月頃

2. チーム構成・ルール

上記 1～4 の参加団体を組み合わせて 10 チームにし、5 チームは紅（平氏）・5 チームは白（源氏）とする。各チームは、音楽・パフォーマンス・コスチューム・元気など審査員の評価で得点を加算していき優勝チームを決める。さらに多様な賞で各チー

ムを評価する。最後は、いわゆる紅白歌合戦方式で総合優勝（源氏か平氏か）を決める。

IV. 会場演出

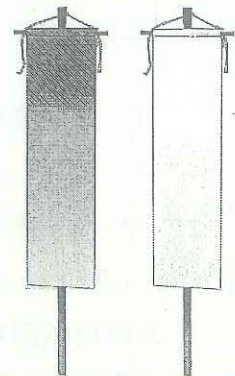
源平合戦のイメージを喚起するため、全体の装飾アイテムを紅白「ながれ旗」とする。

「旗」はデザイナー原研哉氏が基本ベースをデザインする。一部、高松工芸高校がデザインを担当し、また市民が自由にペイントできる部分を残し、市民参加で制作する。

	種類	用途	大きさ	ペイント	本数
1	大団旗	主戦場に設置する源平両陣営の目印	特大	×	2
2	部隊旗	各部隊の目印（1 部隊に 1 本、歩きながら持つ）	大	×	10
3	オリジナル旗	参加者個人大人用（歩きながら持つ） 周辺住宅設置用 水軍装飾用	中	○	1,200
		参加者個人子ども用（歩きながら持つ）	小		300
4	飾り旗	主戦場・周辺沿道設置用	中	×	3,500

【ながれ旗】

室町時代以前に使用されていた、竿の先に横棒をつけて旗をぶら下げて風になびかせる、のれんのような形の旗。

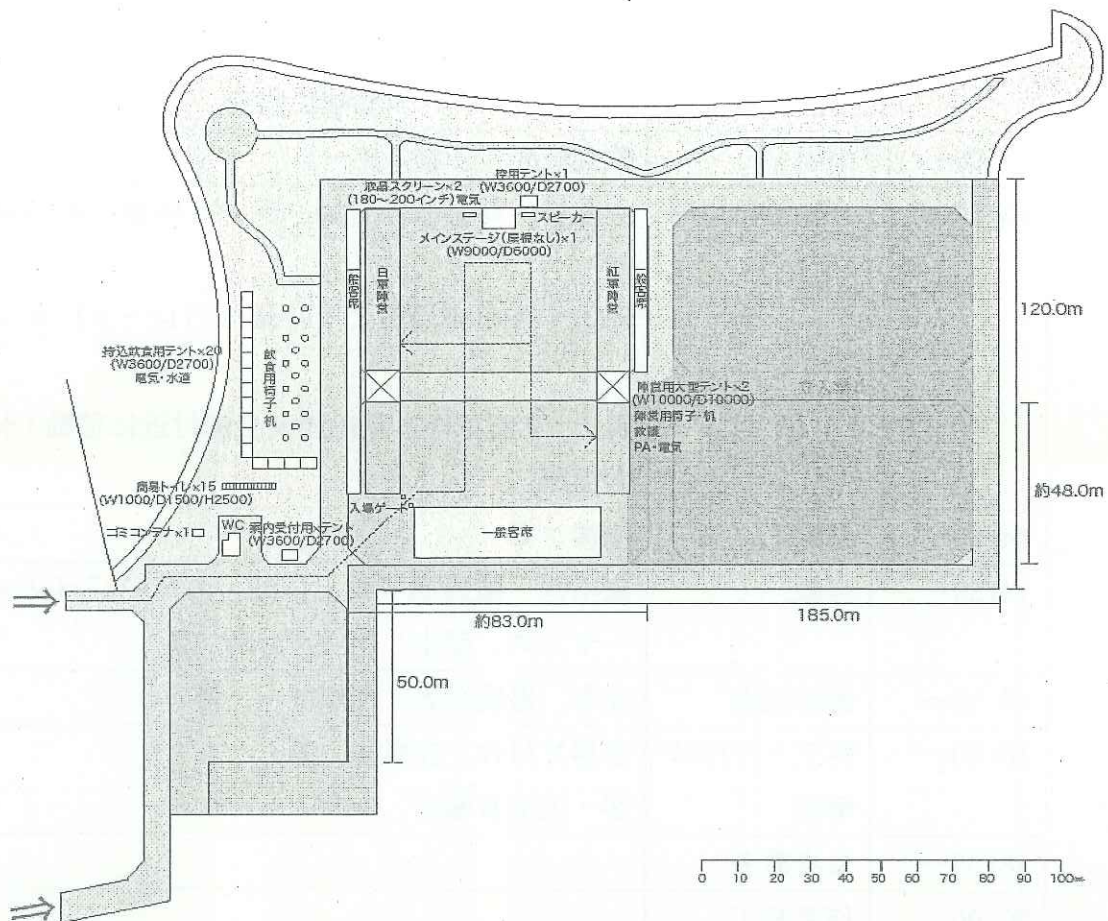


V. プログラム

時間	イベント名	内 容
8:00～	準備・設営 出演者集合	テント・モニター・音響・看板・飲食ブース・ 受付・来賓席・競技用道具等準備及び設置、 旗設置最終確認 等 出演者各スタート会場に集合
12:00～	開場	飲食販売・音響スタート
13:00～	合戦絵巻開始	主戦場：始まりの合図、テレビ中継・司会開 始 周辺：各出発場所より行軍（パレード）スタ ート 海上：立石港沖より船団が会場付近に移動（水 軍参陣）
14:20～	出陣式	挨拶 等
14:30～	合戦	綱引き・騎馬戦・口上合戦・ステージパフォ ーマンス、競走、全員ダンス 等
16:10～	優勝発表	表彰、優勝発表、那須与一 等
16:30～	終了・片付け 解散	会場片付け、旗撤去 等 客・出演者輸送
18:00～	会場撤去	
20:00	作業終了	

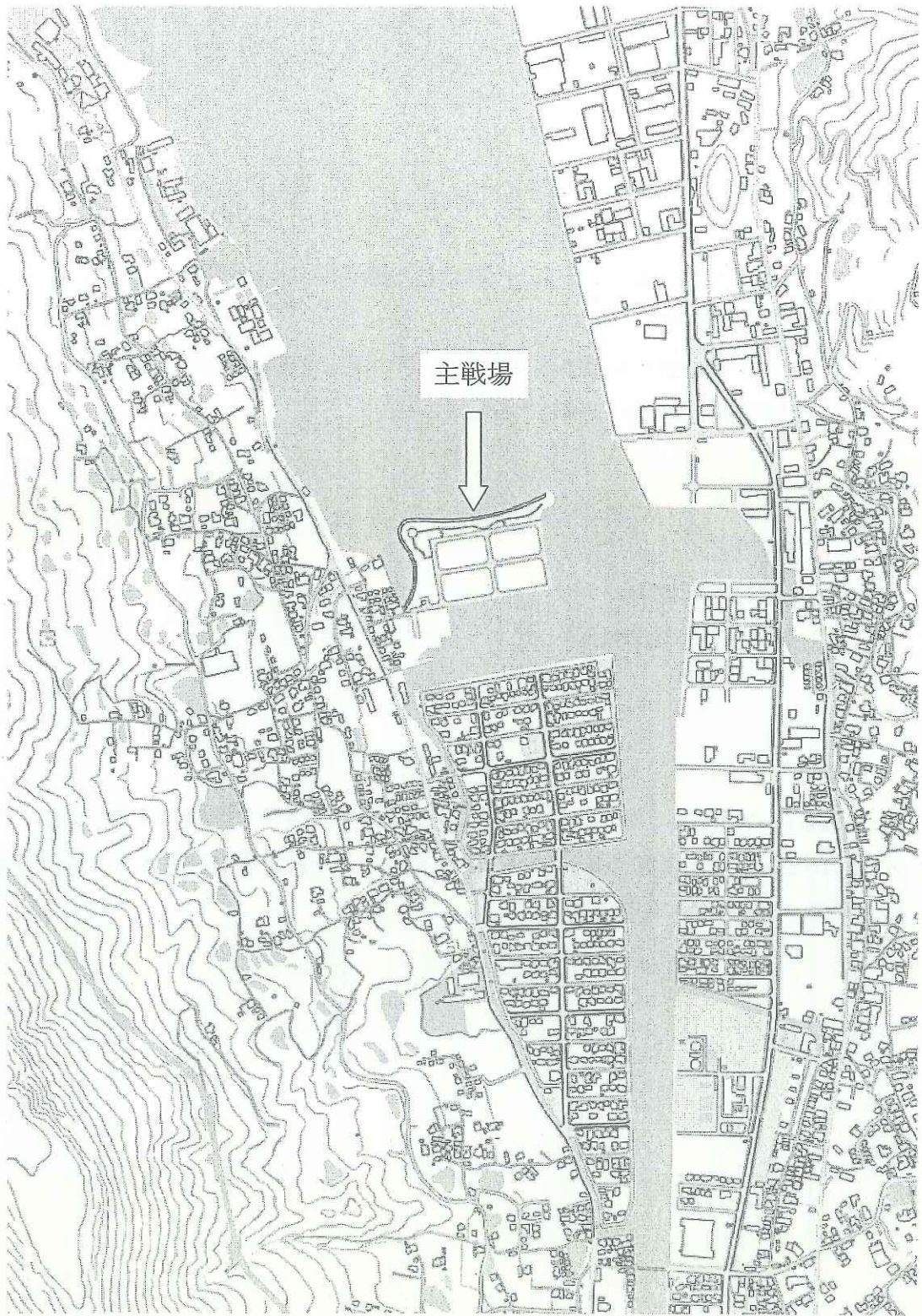
VI. 会場構成

1. 主戦場：立石港埋立地



- ・ 立石港埋立地西側半分を主に使用
- ・ 大型ステージ、映像モニター、参加者・一般客エリア、入場ゲートを設置
- ・ 飲食ブースを設置
- ・ 受付用テントを設置
- ・ 簡易トイレ設置
- ・ 危険箇所の封鎖及び注意喚起看板設置

*会場周辺地図



VII. 交通対策

1. 駐車場

借入れ予定の駐車場は以下のとおり。

【イベント参加者用】

- ・屋島陸上競技場
- ・牟礼浄化苑の駐車場
- ・マルナカ所有地（ただし、バスによる輸送用が主な使用のため、自家用車使用は事前の許可を予定している。）
- ・屋島少年自然の家運動場（ただし、バスによる輸送用が主な使用のため、自家用車使用は事前の許可を予定している。）

【一般者用】

- ・屋島陸上競技場
- ・牟礼浄化苑の駐車場

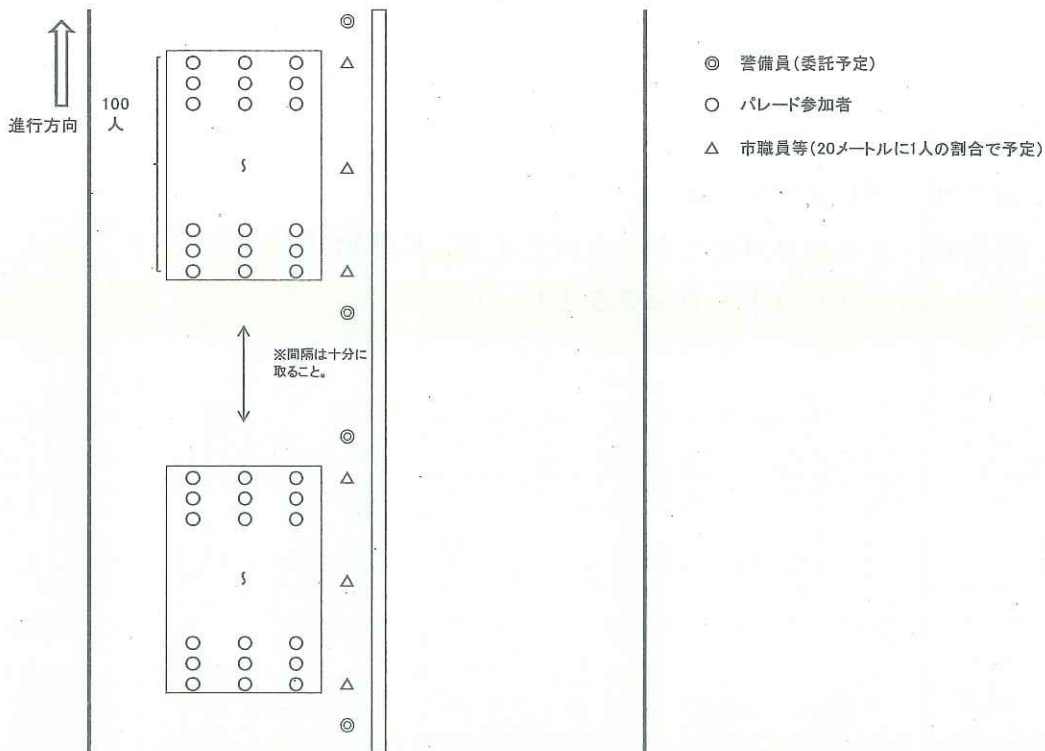
2. その他

一般者については、できるだけ公共交通機関を利用するよう周知する。輸送バスは、10台程度を借りる予定。イベント参加者用と一般者用の利用区分や輸送計画は、今後、交通計画にて策定する。

VIII. 警備

1. パレード警備

高松市立屋島東小学校など数箇所から、屋島東町立石埋立地に向かうパレード隊を警備する警備配置は以下のとおりとする。警備員総数は、30～40名程度を予定している。



2. 会場警備

屋島東町立石埋立地の会場の警備は、10名程度（前日からの夜間警備を含む。ボランティアなどの警備員は除く。）を予定している。ただし、現在、配置計画は策定中である。

3. その他

借入れ予定の駐車場、主な道路進入口などに警備員の配置を予定している。ただし、現在、配置計画は策定中である。

IX. 広告宣伝

1. 方針

- ・ 地元メディア等を活用し、開催までのプロセスを広報機会として活用していく
- ・ 今後の継続を考慮し、源平屋島合戦をイメージさせ、全体のイメージを統一したビジュアルデザイン展開を計る。デザインは原研哉氏に依頼する。

2. 作成ツール

対 外 プレスリリース

制作物 メインロゴマーク・ロゴタイプ、広報物（ポスター・チラシ・パンフレット・ウェブなど）

